

**令和7年度 アンケート結果及び自己評価結果**  
**(ドットジュニア 蘇我第4教室 (児童発達支援・放課後等デイサービス))**

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、定期的に自己評価を実施しています。  
 自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見ご要望をもとに、業務サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R7/11/17～R7/12/5>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R7/11/17～ R7/11/25>
環境 体制 整備	訓練室等の適切なスペースの確保	「教室の清潔さ」や「職員の人数や体制」に関する質問に対しては肯定的な評価をいただきました。	訓練室は個別集団活動に応じたスペースを確保、個室やパーティションを活用し、視界や音を遮るなどにより、感覚過敏や行動特性への配慮を行い、落ち着いて過ごせる環境づくりを推進しています。 職員は配置基準を満たすだけでなく、児童の特性や支援内容に応じ、対応経験が長い職員が児童対応を他の職員の教えられる体制を整えています。安全対策として、避難訓練や設備点検を定期的実施し、衛生管理では清掃換気の徹底と日々の清掃の徹底を行い、感染症予防に努めています。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務 改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	HUGシステムやLINE等情報ツールの活用や日々の保護者様とのコミュニケーションについては肯定的な評価をいただきました。	サービスの質向上を目的に1か月に2回会議実施や朝礼終礼の時間にて、定期的に支援内容の見直しを行っています。その際に、「児童に関する事例検討を行い、」職員間での情報共有や振り返りの機会を設けています。またHUGを活用し、当日の支援内容がすぐに利用者様、保護者様が確認できるようにし、安心して預けられる教室を目指し、日々向上に努めています。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切 な 支 援 の 提 供	適切なアセスメントの実施	コグトレ的なものを増やして頂けると幸いです。食べる活動が少し多いかなと感じています。夕飯をあまり食べない時もあるので少しボリュームや頻度を減らして頂けたらと思います。	学習課題は認知機能を伸ばす教材を揃えていきます。 クッキング系のプログラムを行う場合には、一人一人が食べる量を調整していきます。今後は創作課題を徐々に増やし、より幅広い経験を子どもたちに与えられるようにします。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	「相談や質問に対して、誠実に対応してもらえていると感じるか」や「保護者の意見や希望を受け止めてくれる姿勢があると感じるか」といった質問に対しては肯定的な評価をいただきました。	児童の支援方針の共有と一貫した支援を図るため、サービス担当者会議を定期的で開催し、学校や保育園など関係機関と情報共有連絡調整を行っています。保護者とは日々の連絡や面談を通して発達状況や課題の共通理解を深め、必要に応じて助言や支援を実施しています。支援により専門性が高く求められる場合は、市の療育センター等に相談し、教室だけでなく地域で一人の子どもを支えられる体制の構築に努めています。
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレントトレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	始めて間もないですが面談があり長々と母の話をよく聞いてくれて子供の施設での様子も沢山教えてくれ細かいところも気づいてくれたり安心感を感じました。今後の成長と一緒にみまもってほしいです。	保護者様との面談は定期的に行いますし、利用が増えるほど子どもへの理解も私たちも高まりますので、よろ具体的に保護者様のご相談に乗れるようになるはずです。面談の折に普段の教室での様子も見られるようにしつつ、安心して通わせられる教室を目指していきます。
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	「災害時や緊急時の対応について説明を受けているか」や「防災訓練などの取り組みが行われていると感じるか」といった質問に対しては、おおむね肯定的な評価をいただきました。	事故防止緊急時対応防犯感染症など各種マニュアルを策定し、職員間で共有しています。強度行動障害児や、自閉症スペクトラム障害の児童も多く、突発的な対応が難しい子どもたちもいるため、日ごろから子どもたちとの避難訓練などを行い、保護者へも定期的な面談を通じて、児童に合わせて地震、火災等の災害時の対応なども共有を行っています。さらに、虐待防止や身体拘束に関する研修を実施し、ヒヤリハット事例を事業所内で共有することで、安全で安心できる支援体制の維持に努めています。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
ヒヤリハット事例の事業所内共有			
満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	公共の乗り物でのお出かけで電車を少しづつ克服して欲しいです。いつもありがとうございます。職員さんの顔と名前が分かるプリントを作っていただけたら家に貼っておけるので、もし可能であればお願いします。子どもにとって落ち着く場所がある。本人が楽しそうなのが素晴らしいです。	教室として、まずは放課後を落ち着いて過ごせる場所として、子どもたちがホッとしていられる環境づくりに集中して参ります。その上で、保護者様が感じる課題感を踏まえつつ、子どもたちが前向きに参加し、楽しみに感じられるプログラムを増やしていきます。職員紹介は毎月お渡しをしているDotNewsにてお知らせいたしますので、より皆様の安心につながりましたら幸いです。
	子どもが通所を楽しみにしているか		
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		